

10月

日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	*

12月

日	月	火	水	木	金	土
*	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	*	*	*

【ブックスタート】事前予約制

◇毎月第3火曜日

〈1回目〉午前10:00～10:30

〈2回目〉午前10:30～11:00

〈3回目〉午前11:00～11:30

※時間帯は早い時間から申込順

◇ 対象:6ヶ月から満1歳(お誕生日当月まで)の
赤ちゃんと保護者

◇ 申込:各開催月の前月19日から

◇ 持ちもの:親子健康手帳

11月

日	月	火	水	木	金	土
*	*	*	*	*	*	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	*	*	*	*	*	*

休館日

月曜日(休日は開館)

館内整理日(毎月第3木曜日)

開館時間

火～木、土・日、休日 午前9時～午後6時

金(休日は除く) 午前9時～午後7時

【えほんとわらべうたの会】

◇毎週火曜日(第3除く)

午前10時30分～10時55分

◇対象:0歳～3歳の子どもと保護者

【すくすくタイム】

◇毎週火曜日午前10時～12時ごろ

◇2階おはなしのへや、児童コーナー



浜松市立東図書館

浜松市中央区子安町309番地の1

TEL:053-464-2081

公式SNS



@HamaHigashiLib

暑すぎた夏が終わり、読書の秋がついにやってきました。(これを書いているのは九月初めですが、十月が秋らしい気候になっていきますように...) 毎年十月二十七日～十一月九日は読書週間です。今年は何を読もうか迷っていませんか? そこで今回、一般書・絵本まで東図書館スタッフおすすめの本をまとめました。ぜひあなたの読書リストの参考にして下さい。



10月の展示・イベント

展示

- 一般「家族、それぞれの物語」
- 児童「おばけかいぎへようこそ!」
- ホットコーナー「【ディスレクシア月間】知っていますか? 読み書きが苦手な子のこと」



イベント

- 「おばけ大好き! 一おはなし会と工作」10月5日(日) 午前10時～11時
- 「みつけ、みつけ、おばけをみつけ!」10月17日(金)～10月31日(金)
- 「図書館で割箸プロジェクト 東図書館」10月28日(火)～11月9日(日)
- いもねこショップクッキー販売日 毎月第4土曜日 午後1時～3時30分

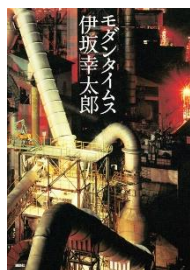
<10月25日/11月22日/12月20日> ※12月のみ例外で第3土曜日

スタッフおすすめ本



<一般書>
『怪談四代記
八雲のいたずら』
小泉凡／著
講談社

ギリシャ生まれのアイランド人、ラフカディオ・ハーンは旅多き人生でした。彼のひ孫で民俗学者でもある著者がたどるのは、小泉家の因縁話。様々な出会いの中、偶然というよりむしろ怪異ともいえる縁の連続の先に見えてくるハーンの生涯と怪談とは。現代を生きる私たちが忘れてしまったものに会えるかもしれません。



<一般書>
『モダンタイムス』
伊坂幸太郎／著
講談社

ぶっ飛んだキャラクターと状況から物語は始まり、破天荒に続いていくのかと思いきや、検索を軸にどんどん不穏な方向へ進んでいき……。2008年に出版された本作ですが、驚くほどネット社会の本質をついています。巨大システムにのまれて生きていくのか、それとも抗う術はあるのか。ぜひ愛する人を思い浮かべながらお読みください。



<一般書>
『お金がない！』
赤塚不二夫／平松洋子／
高野秀行／[ほか]著
河出書房新社

覚えのない請求金額と、覚えしかない支払明細におびえる私。だからなのか、色々なお金エピソードには奇妙な安心感を覚えます。本書には29篇のお金にまつわるお話が収録。レイアウトも凝っていて、どこから読んでも惹き込まれてしまいます。お金に笑ってお金に泣く。それはきっといつの時代も同じなのですね。



<児童書>
『ふしぎ文房具店の
八雲さん』
小川慧／作、たま／絵
集英社みらい文庫

何か困ったことがあるとたどりつける文房具店「白黒屋」。願いを叶えてくれる文房具を売っているようですが、それには約束事があって……。お店を訪れるのは5人の小学生。はたして、ちゃんと約束を守れるのでしょうか。そして、店主の八雲さんの目的とは？物事の表と裏、あなたには見抜けますか？



<絵本>
『ルラルさんの
バイオリン』
いとうひろし／作
ポプラ社

突然ですが、楽器を鳴らしたことはありますか？うまくできないと、続けていくのは難しいですね。今回のルラルさんも、プロのお父さんにバイオリンを習っても出るのはおしりがかゆくなるような音ばかりでした。だけど、それを聞いたみんなは…？きっとあなたも笑顔でおしりをフリフリしたくなるはず。



<絵本>
『くろいの』
田中清代／作
偕成社

女の子が出会ったのは、「くろいの」。かわいいうような怖いようなあやふやな存在。はたして「くろいの」の正体とは？白黒で進んでいく世界では、まるで自分の感覚が研ぎ澄まされていくかのよう。不気味だけどなぜか優しくも感じられるこの不思議な生き物のとりこになる人も多いはず。さあ、「くろいの」と一緒に冒険しましょう！

